

| | |
|-----------|---|
| 学位被授与者氏名 | 田村 嘉之（たむら よしゆき） |
| 論文題目 | 農民の農業経営戦略と英知 ーインド西ベンガル州パンパラ南部集落の事例からー |
| 論文審査結果の要旨 | <p>本研究はインドの農村社会の変容と農業経営戦略に関するインテンシブな文化人類学的研究である。インド西ベンガル州のパンパラ南部集落を中心としたフィールドは、著者が若い頃に仕事を経験した土地であるが、著者は現在高齢の上、地域的に非常に困難な調査地であるにもかかわらず、精力的にインタビューをかさねていることが論文データからもうかがい知れる。</p> <p>およそ2ヶ月にわたる現地調査に基づく一次データは20家族のものでありながら、その丁寧な分析によって、彼らの出自や歴史的背景が、現在の生業活動に大きな影響を与えていることが明らかしたという点で、非常に貴重なものである。こうしたミクロな視点は、これまでの経済学、政治学、地理学、農学の分野の先行研究にはなかったものであり、本研究の独自性を意味している。</p> <p>一般にインド農村社会はカーストなどの社会制度に縛られ固定的なものとして捉えられがちであるが、そうしたなかでも個々の農民がさまざまな経営戦略を用いて農地改革や自由化などの政策の変化に対応していることがわかる。</p> <p>本研究で明らかにされた、戦略の違いやそれをうみだした外的要因と内的要因の考察は、今後のベンガルの農村の発展や支援のあり方を考える上で、多くの示唆をあたるものであり、農村における社会戦略研究の重要な基礎文献となる。</p> <p>論文全体の構成をみると、先行研究とデータのそのものの分析は比較的良くできているが、考察部分がややものたりないものを感じる。そのためせっかくのデータを十分に生かし切れていないという印象も残った。論文の結論についても、全体の総括としてきちんと書きこんでおく必要がある。さらに論文としての精度を高めるために、説明が不十分で解りにくい部分の若干の加筆、誤字脱字などの字句の修正も必要である。</p> <p>平成29年2月10日に、北九州市立大学北方キャンパス4号館4-101教室において、審査委員全員出席のもとで最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で当該論文が修士(人間関係学)として十分な内容であると判定した。</p> |